

## 集落営農法人が地元小学校で食育出前授業を実施

1 月 21 日に「食育出前授業」を、農事組合法人フレンドリーファームいしでら（以下「FFいしでら」）が、彦根市立稲枝北小学校の 4 年生 18 人を対象に実施され、供給されたキャベツとジャガイモを使った給食を一緒に味わいました。

「FFいしでら」では 2 年前から園芸品目の栽培に取り組まれており、当課では技術支援を行っています。栽培されたキャベツやジャガイモ、タマネギは積極的に学校給食に供給されており、この日もキャベツとジャガイモが使用されました。

給食の時間に、「FFいしでら」の野菜担当者 3 名が、キャベツの栽培や学校給食への思い、食の大切さを伝えられました。生産者と児童は、キャベツがたっぷり使われたタコライスやジャガイモの入ったスープを食べながら、交流を深めていました。

当課では、「給食用野菜を通じた食育推進事業」を活用して、給食用野菜の供給だけではなく生産者と児童をつなぐ取り組みの実施に向けて、今回の「食育出前授業」の支援を行いました。今後もこのような取り組みが、広がるように支援を行っていきます。



生産者が給食への思いを説明



生産者からキャベツのプレゼント